

競技上の注意

第38回 道新杯北海道中学選抜卓球大会
兼 全国中学選抜卓球大会予選会
審判長 北里 嘉則

現行の日本卓球ルールを適用して実施する。

1. ボール、ラバー、ラケット、服装について

- (1) 使用球は「JTTA 公認プラスチック球：40mm ホワイト」とする。
- (2) ラバーは、ラケット本体の外周いっぱいまで、外にはみ出さないように覆うものとする。
- (3) 外国製のラケットで、JTTA マーク・刻印の無いものを使用する場合は、あらかじめ審判長の許可を受けること。
- (4) ラケット本体を覆っているラバーの表面、或いは被覆されていない本体の表面は無光沢で、片方は黒、他方は片方の黒やボールの色とはっきり区別できる明るい色とする。
- (5) 競技用服装(シャツ・ショーツ・スカート)は JTTA の公認マークの付いているものを着用する。
- (6) 同系色の服装による対戦を避けるため、色、柄の異なった2種類以上の服装を用意する。

2. サービスについて

- (1) オープンハンドで16センチ以上ほぼ垂直に投げ上げ、落下する途中を打球すること。
- (2) サービスを開始してから打球するまでの間、ボールは常にプレイングサーフェスよりも高い位置で、かつエンドラインの後方になければならない。
- (3) サーバーの体の一部や着用している物で、ボールをレシーバーから隠すことなくレシーバーにはっきりとみえるようにする。また、審判が正規のサービスであるかを確認できるよう行うことは、競技者の責任である。

3. 促進ルールについて

- (1) ゲーム開始後10分経過しても終了しない場合は、促進ルールを適用する。ただし、双方のポイント合計が18点以上(9-9、10-8)の場合は適用されない。
- (2) 促進ルールが適用になった場合は、その試合が終了するまで続行される。

4. 競技者・監督・アドバイザーのバッドマナーについて

- (1) 相手競技者に対し不当な影響を与えることや、ゲームをおとしめる様な癖や態度などは慎まなければならない。また、観客に不快感を与える態度なども慎まなければならない。
- (2) 競技者はポイントが決定した後、速やかに次の体勢をとること。みだりに時間を費やすことはスロープレイであり、注意の対象となる。

5. アドバイスについて

- (1) アドバイスは、ゲーム間(1分以内)と緊急中断中のみ認められる。競技中のアドバイスは警告の対象となる。

6. その他

- (1) 本大会では、準決勝よりタイムアウト制(1分以内)を適用する。タイムアウト制は要求した側の権利であるので、要求した側が戻った場合は相手も直ちに戻らなければならない。要求の優先順位は、監督>選手であるが、複数台使用時のみアドバイザーにも要求の権利を与えるものとする。この時要求の優先順位は、アドバイザー>選手となる。
- (2) 団体戦の抗議権は監督にのみ与えられる。(アドバイザーに抗議権はない。)
- (3) 監督・アドバイザーは、役員登録を済ませ役員章を身に着けなければならない。